

船橋に備え置いてください！

酒田港における荒天時の注意

1. 酒田港付近の気象・海象の特性と、船舶交通の安全のための注意
- ・低気圧が発達しながら日本海から太平洋に通過するとき、風向が東～南東～南から急激に西～北西に変わり、大しけとなることが多いです。
 - ・特に冬季は、西から北西の風が強く吹くとき、港外の波高が7～8mに達することがあり、入出港や港内外での錨泊が困難となります。

酒田港外における走錨乗揚げ事例



2. 酒田港における気象状況に応じた港長勧告発出基準

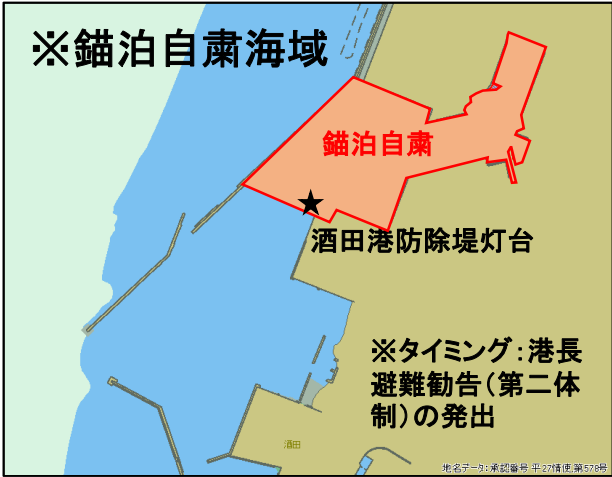
気象条件 区分	発達した低気圧等	台風
警戒勧告 (第一体制)	山形地方気象台から庄内に「暴風(又は暴風雪)」の発表が見込まれる場合	気象庁が発表する台風情報において、山形県沿岸が「24時間以内」に『強風域(平均風速15m/s以上)』に入ると予想された場合
避難勧告 (第二体制)	山形地方気象台から「暴風(又は暴風雪)」に関する山形県気象情報が発表され、庄内に「概ね24時間以内」に警報発表が見込まれる場合	気象庁が発表する台風情報において、山形県沿岸が「12時間以内」に『暴風警戒域(平均風速25m/s以上)』に入ると予想された場合

台風・低気圧等に対する船舶対応表

観望の種類	船 舶 の 対 応							
	港 内 着 岸 船			錨 泊 船		航 行 船		
	大型船	中型船	小型船	大型船	中型船	大型船	中型船	小型船
警戒勧告 (第一体制)	◇荷役・作業中止又は早期完了 ◇港外退避準備	◇荷役・作業中止又は早期完了 ◇係留強化準備又は港外退避準備	◇係留強化準備又は陸揚げ固縛準備	◇機関使用 ◇港外避難準備	◇機関使用 ◇港外避難準備又は着岸のうえ係留強化準備	◇入港見合せ港外避難準備	◇着岸のうえ係留強化準備又は入港見合せ港外避難準備	◇着岸のうえ係留強化準備、陸揚げ固縛準備
避難勧告 (第二体制)	◇港外退避	◇係留強化又は港外退避	◇係留強化又は陸揚げ固縛	◇港外退避	◇港外退避又は係留強化	◇港外退避	◇係留強化又は港外退避	◇係留強化又は陸揚げ固縛

3. 荒天時における錨泊の自粛と早期避難のお願い

- 酒田港及び周辺海域での荒天時における船舶の走錨による海難の防止と港内の安全確保のため、次の事項への協力をお願いします。
- (1) 酒田港内における錨泊の自粛(特に、北港地区では「錨泊自粛海域(右図)」を設定することがあります。)
 - (2) 酒田港外における錨泊の自粛(底質が「砂」で荒天時の錨泊には適していません。)
 - (3) 気象情報による早期の「港外退避」と佐渡島周辺等の最寄り避泊適地への回航



酒田港長
酒田海上保安部交通課
海の緊急通報
酒田港港湾管理者
(山形県港湾事務所)

<緊急連絡先>
☎ 0234-24-0055
☎ 118
☎ 0234-26-5635

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。